

藤田観光株式会社

2024年12月期
第2四半期(中間期)

決算説明資料

2024年8月8日
(証券コード:9722)



連結 損益計算書

- ・海外向けセールスの強化等により、旺盛なインバウンド需要を獲得
 - ・商品力の向上等により、主に宿泊部門において利用単価が上昇
- ➡前年比 売上高**67.1**億円増収、営業利益**32.1**億円増益

単位:百万円			2024年	2023年	前年比
	1Q実績 1~3月	2Q実績 4~6月	2Q累計 実績	2Q累計 実績	
売上高	16,985	18,896	35,882	29,162	+6,719
営業利益	2,056	3,067	5,123	1,912	+3,211
経常利益	2,177	3,438	5,615	2,504	+3,110
特別利益	131	8	139	627	▲488
特別損失	367	416	784	40	+743
税金等費用	271	695	966	19	+947
親会社株主に帰属する 四半期純利益	1,669	2,334	4,004	3,073	+931

売上高・営業利益 事業別内訳

- ・WHG事業を中心にADR(客室平均単価)が上昇
- ・高付加価値商品の拡販、インバウンド需要の獲得により全事業で前年比増収
- ・ラグジュアリー&バンケット事業においては労務費増加等の影響により前年比減益

単位:百万円

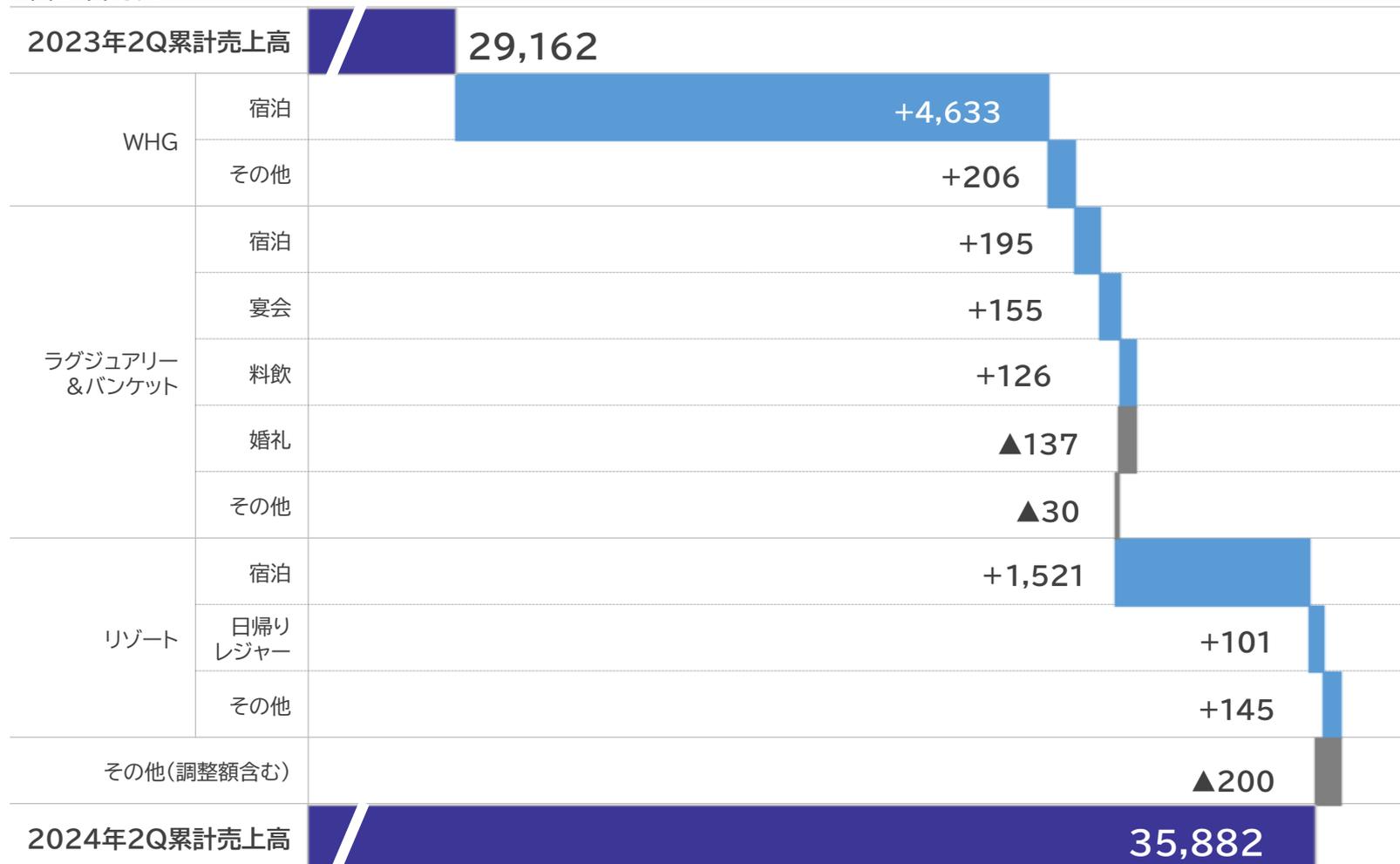
			2024年	2023年	前年比
	1Q実績 1~3月	2Q実績 4~6月	2Q累計 実績	2Q累計 実績	
売上高	16,985	18,896	35,882	29,162	+6,719
WHG事業	10,229	11,187	21,416	16,576	+4,840
ラグジュアリー&バンケット事業	4,045	4,924	8,970	8,660	+310
リゾート事業	2,416	2,472	4,889	3,120	+1,768
その他(調整額含む)	293	311	605	805	▲200
営業損益	2,056	3,067	5,123	1,912	+3,211
WHG事業	1,901	2,429	4,331	1,895	+2,436
ラグジュアリー&バンケット事業	48	529	577	646	▲68
リゾート事業	105	77	182	▲400	+583
その他(調整額含む)	0	30	31	▲228	+260

※ 組織変更により営業施設の属するセグメントを一部変更しているため、2023年のセグメント別情報は変更後のセグメント区分に組替えた実績

売上高 一部門別増減

- ・ADRが上昇したWHG事業 宿泊部門が牽引
- ・リゾート事業 宿泊部門では2023年7月開業の「箱根ホテル小涌園」が順調に推移
「箱根小涌園 天悠」も稼働率・ADRともに上昇

単位:百万円



営業利益 一要因別増減

- ・労務費(新規採用、賃金引上げなど)、地代家賃の増加影響はあるものの、各事業の限界利益の増加が大きく上回る
- ・構造改革により営業固定比率はコロナ前と比較し低減

単位:百万円

2023年2Q累計 営業利益		1,912
増収による限界利益増加	WHG	+3,742
	ラグジュアリー & バンケット	+232
	リゾート	+1,271
	労務費増加	▲1,124
	地代家賃増加	▲480
	減価償却費増加	▲201
	その他費用増加	▲229
2024年2Q累計 営業利益		+5,123

営業固定費比率(対売上高)

✓ コロナ前と比較し低減

2019年 2Q累計 75.2%



2023年 2Q累計 70.8%



2024年 2Q累計 62.9%

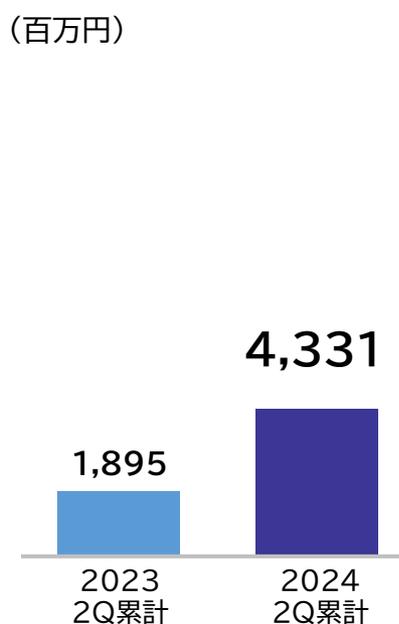
事業全体で前年比48.4億円増収、24.3億円増益

- ・欧州、豪州、アジアでのセールス強化により、インバウンド宿泊者数が増加、加えて早期から高単価での予約を獲得したことでADRが上昇
- ・客室、ラウンジ、レストラン改装等の商品力強化施策を実施
- ・2024年4月1日より、「新宿ワシントンホテル ANNEX(別館)」(337室)を直営事業所として営業開始

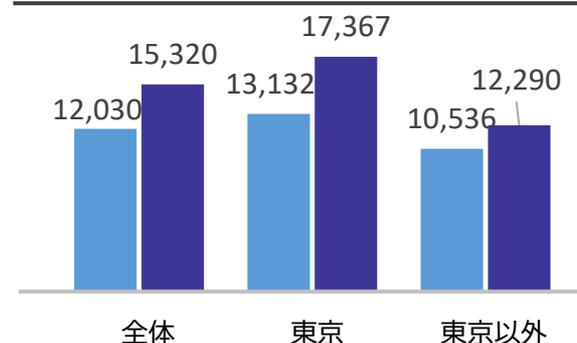
売上高



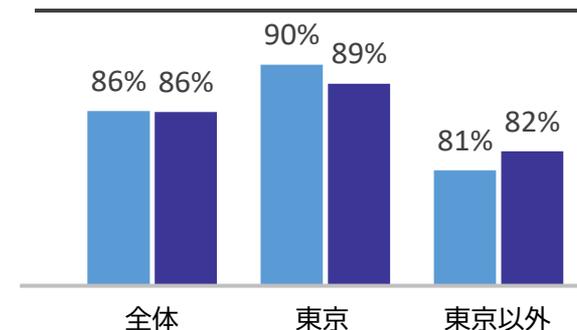
営業利益



ADR(円)



稼働率



✓ 宿泊部門+4,633百万円のうちADR上昇効果は+4,167百万円

※ 組織変更により営業施設の属するセグメントを一部変更しているため、2023年のセグメント別情報は変更後のセグメント区分に組替えた実績
 ※ 2023年2月末まで「ホテルグレイスリー新宿」は行政へ提供(一棟貸し)

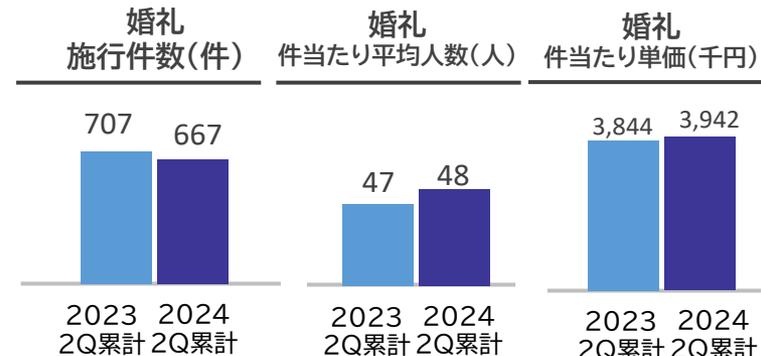
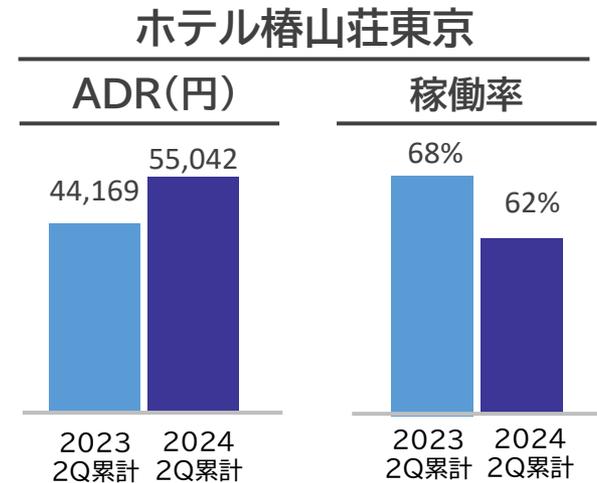
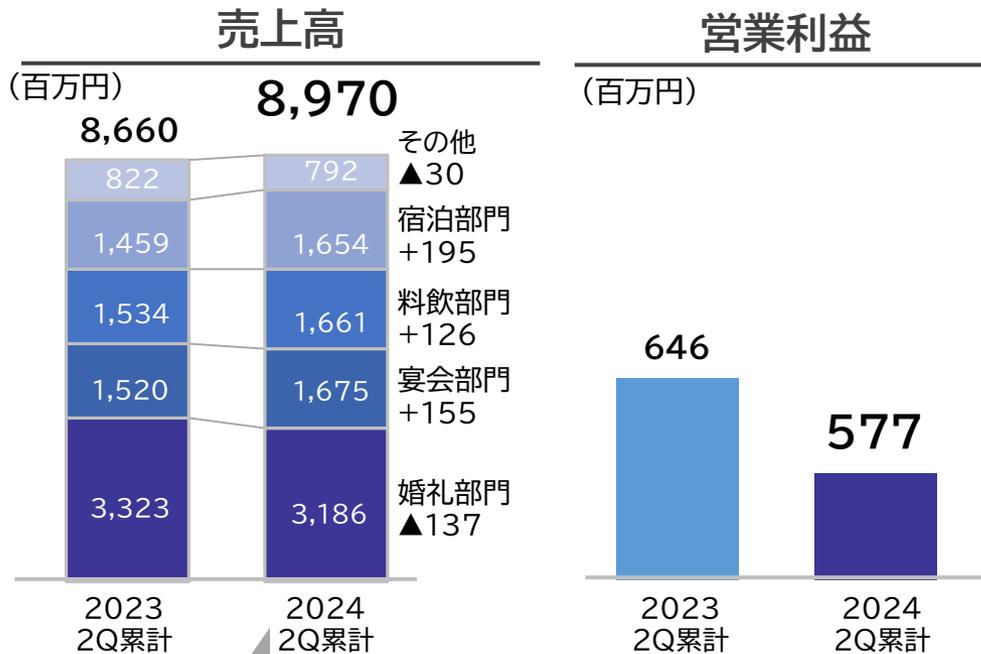
※ 営業指標はサービスアパートメントISORAS CIKARANGを除く

ラグジュアリー&バンケット事業

事業全体で前年比**3.1**億円増収、**0.6**億円減益

「ホテル椿山荘東京」

- ・各部門で高付加価値商品の販売施策実施、宿泊部門を中心に利用単価が上昇
- ・婚礼部門は件当たり単価増も件数減少により減収
- ・新卒採用に伴う教育期間において一時的に人件費が増加



「ホテル椿山荘東京」

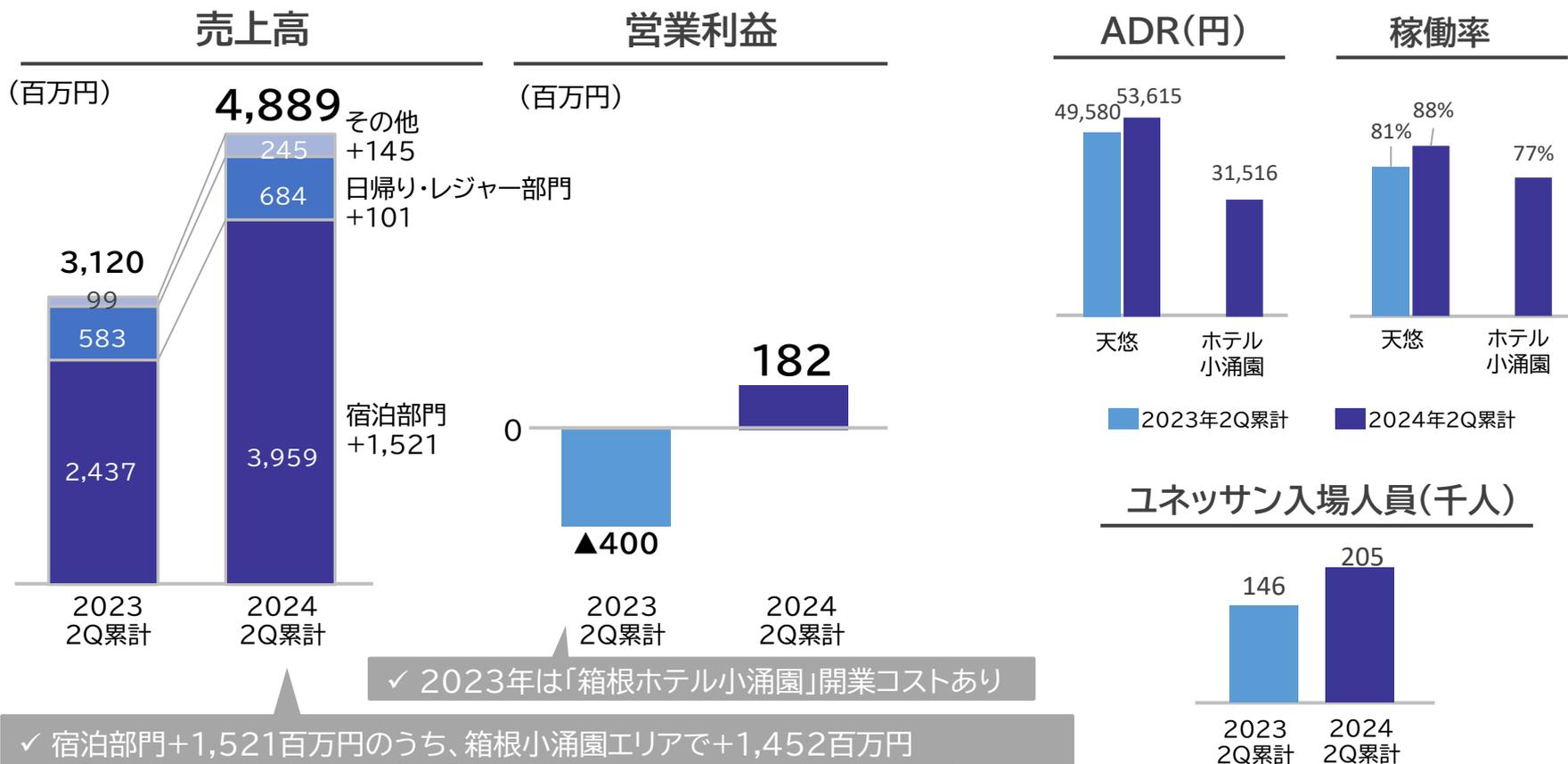
- ✓ 婚礼部門▲137百万円
施行件数前年比マイナス、件当たり平均人数、件当たり単価は前年比プラス
- ✓ 料飲部門・宴会部門
利用人員が前年比で増加、料飲部門+3.2%、宴会部門+1.2%
- ✓ 宿泊部門+195百万円
ADR上昇効果は+317百万円
稼働率は前年比マイナスとなるも、RevPAR(稼働率×ADR)が上昇

※婚礼施行件数、件当たり人数・単価は
挙式のための施行件数を含まず算出

事業全体で前年比17.6億円増収、5.8億円増益

- ・「箱根ホテル小涌園」のインバウンド比率上昇、ADR・稼働率が引き続き順調に推移
- ・「箱根小涌園ユネッサン」においては「箱根ホテル小涌園」からの回遊とリニューアル効果で入場人員増加
- ・「箱根小涌園 天悠」での高付加価値商品の販売が好調、ADR上昇

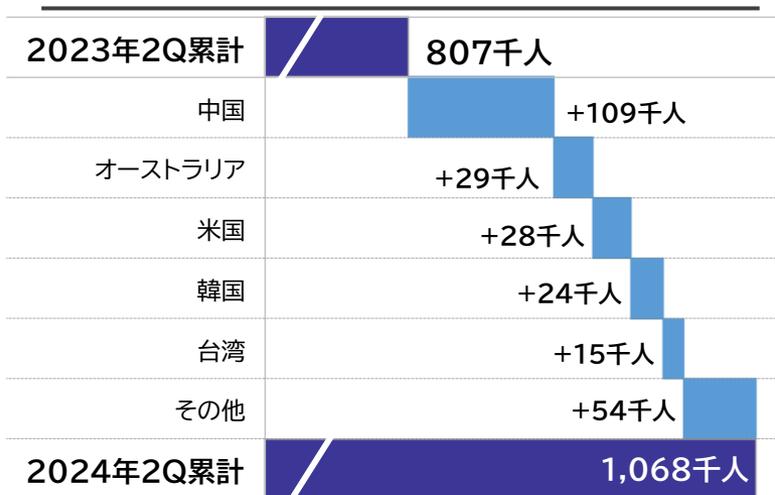
※箱根ホテル小涌園:2023年7月開業



インバウンドの状況

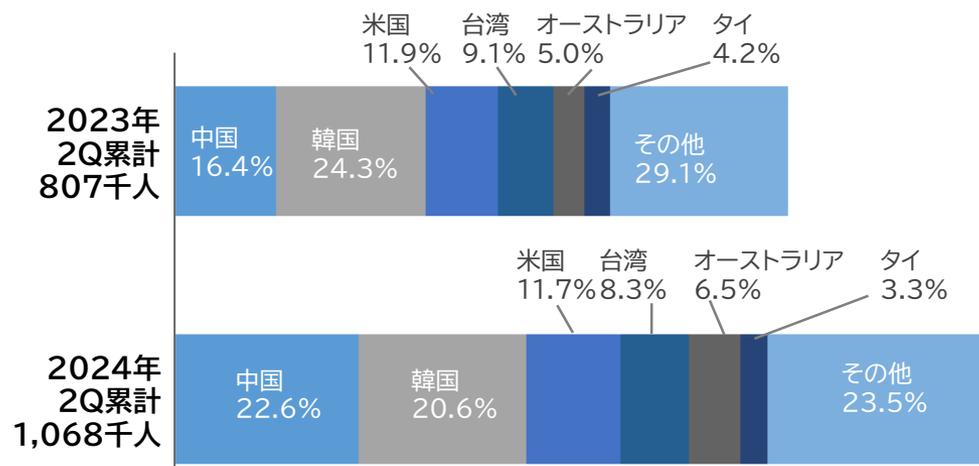
	2024年2Q累計実績	前年比
インバウンド宿泊者数(国内事業所のみ)	1,068千人	+32.3%
総宿泊者数(国内事業所のみ)	2,057千人	+12.8%
インバウンド比率	51.9%	+7.7%pt
WHG全体	53.8%	+8.6%pt
ホテルグレイスリー新宿	94.0%	+4.1%pt
新宿ワシントンホテル(本館・ANNEX)	68.6%	+5.5%pt
ホテル椿山荘東京	35.4%	+5.2%pt
箱根小涌園 天悠	51.2%	+7.0%pt
箱根ホテル小涌園	18.0%	—

インバウンド宿泊者数 国別増減



※中国の数値に香港からの宿泊者数を含む

インバウンド宿泊者数 国別シェア



※2023年2Qは807千人を、2024年2Qは1,068千人を100%とした場合

貸借対照表

・純資産は前期末比42.5億円増加の302.2億円

A種優先株式に係る配当金の支払いで資本剰余金が4.0億円減少した一方、利益剰余金が40.0億円増加

単位:百万円		2024年 6月末	2023年 12月末	増減
流動資産		24,634	21,293	+3,341
固定資産		73,372	72,202	+1,169
資産合計		98,006	93,496	+4,510
流動負債		29,383	30,365	▲981
固定負債		38,394	37,156	+1,237
負債合計		67,778	67,521	+256
純資産合計		30,228	25,974	+4,253
負債純資産合計		98,006	93,496	+4,510
自己資本比率		30.8%	27.8%	+3.1%pt
借入金合計		40,288	40,021	+267

キャッシュ・フロー計算書

- ・営業利益の計上により、営業キャッシュ・フローは57.5億円のキャッシュイン
- ・客室美装等で投資キャッシュ・フローは19.1億円のキャッシュアウト
- ・A種優先株式に係る配当金支払いがあった一方で、借入の実行により、財務キャッシュ・フローは1.7億円のキャッシュアウト

単位:百万円	2024年 2Q累計	2023年 2Q累計	増減
営業活動による キャッシュ・フロー	5,754	3,003	+2,751
投資活動による キャッシュ・フロー	▲1,916	▲4,131	+2,215
フリーキャッシュ・フロー	3,838	▲1,128	+4,966
財務活動による キャッシュ・フロー	▲172	▲5,021	+4,849
現金および現金同等物の 期末残高	17,387	18,023	▲636

2024年12月期 業績予想

第2四半期決算、足元の状況を踏まえ、下期および通期業績予想を上方修正

単位:百万円	上期(1~6月)			下期(7~12月)			通期		
	実績	5/9発表 予想	前回 予想比	見直し後 予想	5/9発表 予想	前回 予想比	見直し後 予想	5/9発表 予想	前回 予想比
売上高	35,882	35,200	+682	39,117	37,300	+1,817	75,000	72,500	+2,500
WHG事業	21,416	21,000	+416	23,283	21,800	+1,483	44,700	42,800	+1,900
カジノアール&バンケット事業	8,970	8,800	+170	9,229	9,300	▲70	18,200	18,100	+100
リゾート事業	4,889	4,800	+89	5,910	5,600	+310	10,800	10,400	+400
その他(調整額含む)	605	600	+5	694	600	+94	1,300	1,200	+100
営業利益	5,123	3,700	+1,423	5,876	4,800	+1,076	11,000	8,500	+2,500
WHG事業	4,331	3,500	+831	4,668	3,600	+1,068	9,000	7,100	+1,900
カジノアール&バンケット事業	577	300	+277	522	500	+22	1,100	800	+300
リゾート事業	182	0	+182	817	700	+117	1,000	700	+300
その他(調整額含む)	31	▲100	+131	▲131	0	▲131	▲100	▲100	0
経常利益	5,615	3,900	+1,715	5,384	4,600	+784	11,000	8,500	+2,500
当期利益	4,004	2,900	+1,104	3,995	4,100	▲104	8,000	7,000	+1,000

2024年12月期 業績予想の前提(営業指標)

		上期(1~6月)			下期(7~12月)			通期		
		実績	5/9発表	増減	見直し後	5/9発表	増減	見直し後	5/9発表	増減
WHG全体	稼働率	86%	86%	▲0%pt	88%	90%	▲2%pt	87%	87%	▲0%pt
	ADR	15,320円	15,000円	+320円	15,700円	15,000円	+700円	15,550円	15,000円	+550円
WHG東京	稼働率	89%	88%	+1%pt	89%	90%	▲1%pt	89%	88%	+1%pt
	ADR	17,367円	17,000円	+367円	17,700円	17,000円	+700円	17,500円	17,000円	+500円
WHG東京以外	稼働率	82%	83%	▲1%pt	87%	90%	▲3%pt	85%	86%	▲1%pt
	ADR	12,290円	12,000円	+290円	12,700円	12,000円	+700円	12,500円	12,000円	+500円
ホテル椿山荘東京	稼働率	62%	60%	+2%pt	64%	59%	+5%pt	63%	60%	+3%pt
	ADR	55,042円	53,100円	+1,942円	54,000円	53,000円	+1,000円	54,500円	53,000円	+1,500円
箱根小涌園 天悠	稼働率	88%	86%	+2%pt	88%	86%	+2%pt	88%	86%	+2%pt
	ADR	53,615円	54,200円	▲585円	56,000円	55,000円	+1,000円	54,700円	54,700円	±0円
箱根ホテル小涌園	稼働率	77%	77%	▲0%pt	89%	83%	+6%pt	83%	80%	+3%pt
	ADR	31,516円	32,700円	▲1,184円	38,000円	35,300円	+2,700円	35,000円	34,000円	+1,000円
ホテル椿山荘東京	婚礼施行件数	667件	660件	+7件	833件	840件	▲7件	1,500件	1,500件	±0件
	婚礼件当たり単価	3,942千円	3,993千円	▲50千円	3,885千円	3,775千円	+109千円	3,910千円	3,871千円	+39千円
	婚礼件当たり平均員数	48人	48人	±0人	47人	45人	+2人	48人	47人	+1人
箱根小涌園1ネッパ	入場人員	205千人	207千人	▲1千人	358千人	353千人	+5千人	564千人	560千人	+4千人

※ 営業指標はサービスアパートメントISORAS CIKARANGを除く

財務戦略の進捗

上期の業績が堅調に推移したことから、健全な財務基盤構築のため、A種優先株式100株のうち40株の償還(取得及び消却)を決議。

取得及び償却の内容	
決議日	2024年8月8日
取得(消却)する株式の種類	A種優先株式
取得(消却)する株式の総数	40株 (発行価額:1株につき1億円)
取得(消却)予定日	2024年8月23日

※ 発行済株式数は100株であり、取得後の未取得株式数は60株となります

事業戦略の施策と進捗

WHG事業

- 商品力強化による収益拡大
 - 新規出店による拠点数拡大
 - ブランドの再整理と認知度向上
 - ファンの獲得
- ・商品力強化のため客室、レストランの改装を実施



仙台ワシントンホテル 客室



ホテルグレイスリー新宿「グレイスリーラウンジ」

顧客ニーズに対応することで、商品力・付加価値を向上

事業戦略の施策と進捗

ラグジュアリー&バンケット事業

- 有形固定資産の活用
- ブランド・ノウハウ・スキルの活用
- 専門技能強化と人材ポテンシャル最大化

・ホテル椿山荘東京にて、チャペルを転用し、スイートルームゲスト専用エグゼクティブラウンジを新設



エグゼクティブラウンジ「ル・シエル」7月26日営業開始

チェックイン機能を完備、ライブキッチンでの軽食の提供など付加価値を創出

事業戦略の施策と進捗

リゾート事業

- 箱根小涌園での再開発効果最大化
 - 既存施設の商品力強化と遊休地活用
 - 事業領域の拡大と新規出店
- ・箱根小涌園の観光スポット化推進のため、各種アクティビティを実施



自然散策ツアー



和文化体験(和食・浴衣体験)

イベントの開催などにより観光スポット「箱根小涌園」の魅力度を向上

営業指標推移

		2023年				2024年	
		1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q
WHG全体	稼働率	84%	88%	88%	90%	86%	86%
	ADR	10,821円	13,083円	13,487円	14,473円	14,849円	15,774円
WHG東京	稼働率	89%	91%	90%	92%	90%	88%
	ADR	11,567円	14,428円	14,612円	16,096円	16,920円	17,791円
WHG東京以外	稼働率	78%	83%	85%	87%	82%	83%
	ADR	9,853円	11,123円	11,909円	12,213円	11,847円	12,728円
ホテル椿山荘東京	稼働率	65%	72%	58%	70%	53%	70%
	ADR	42,660円	45,527円	50,335円	52,535円	55,437円	54,705円
箱根小涌園 天悠	稼働率	83%	79%	85%	91%	89%	87%
	ADR	48,575円	50,630円	53,090円	55,456円	54,102円	53,113円
箱根ホテル小涌園	稼働率	2023年7月12日開業		88%	77%	73%	81%
	ADR			36,221円	32,918円	32,791円	30,371円
ホテル椿山荘東京	婚礼施行件数	271件	436件	289件	566件	282件	385件
	婚礼件当たり単価	3,675千円	3,948千円	3,679千円	3,706千円	4,044千円	3,868千円
	婚礼件当たり平均員数	44人	49人	45人	45人	49人	48人
箱根小涌園ユネッサン	入場人員	75千人	70千人	208千人	94千人	107千人	97千人

施設一覧(2024年8月8日現在)

WHG事業				リゾート事業		ラグジュアリー&バンケット事業	
《宿泊》 35拠点 11,041室				《宿泊》11拠点 553室		《宿泊》 1拠点 265室	
■ワシントンホテル (20拠点 6,619室)		■ホテルグレイスリー (10拠点 3,198室)		箱根小涌園 天悠	150室	ホテル椿山荘東京 265室	
仙台	223室	札幌	440室	箱根ホテル小涌園	150室	《婚礼》 3拠点	
新宿(本館、ANNEX)	1,617室	銀座	270室	箱根小涌園 三河屋旅館	25室	Share Clapping(広島県)	
秋葉原	369室	田町	216室	箱根小涌園 美山楓林	15室	ルメルシェ元宇品(広島県)	
東京ベイ有明	830室	浅草	125室	伊東小涌園	50室	ザ サウスハーバーリゾート(広島県)	
横浜桜木町	553室	新宿	970室	伊東 緑涌	7室	《レジャー》 1拠点	
浦和	140室	京都三条(北館・南館)	225室	藤乃煌 富士御殿場	24室	カメラアヒルズカントリークラブ(千葉県)	
広島	266室	大阪なんば	170室	永平寺 親禅の宿 柏樹閣	18室	《レストラン》 2拠点	
キャナルシティ・福岡	423室	那覇	198室	湯河原温泉ちとせ【MC】	38室	東京大学伊藤国際学術研究センター内 レストラン【MC】	
山形七日町【FC】	213室	ソウル	336室	ホテルやまなみ【MC】(山梨県)	26室	明治大学 紫紺館 フォレスタ椿山荘【MC】	
山形駅西口【FC】	100室	台北	248室	十和田ホテル【業務提携】	50室		
会津若松【FC】	154室			《レストラン》 3拠点			
郡山【FC】	184室	■ホテルフジタ(1拠点 354室)		レストランあかしあ亭(秋田県)			
いわき【FC】	148室	福井【FC】	354室	箱根小涌園 蕎麦 貴賓館		FC:フランチャイズ方式 所有と経営・運営ともにオーナー企業に帰属し、当社はブランド使用権の貸与と運営を指導	
立川【FC】	170室			箱根小涌園 鉄板焼・しゃぶしゃぶ 迎賓館		MC: マネジメントコントラクト方式 所有と経営はオーナー企業に帰属し、当社は運営を受託	
木更津【FC】	146室	■ホテルタビノス(3拠点 656室)		《レジャー》 5拠点			
燕三条【FC】	103室	浜松町	188室	箱根小涌園 ユネッサン			
関西エアポート【FC】	504室	浅草	278室	箱根小涌園 元湯 森の湯			
関空泉大津【FC】	151室	京都	190室	箱根小涌園 キャンプ&スパ 山の音			
宝塚【FC】	135室			Fuji Camp Base煌(藤乃煌 富士御殿場 敷地内)			
佐世保【FC】	190室	■サービス・アパートメント(1拠点214室)		下田海中水族館			
		ISORAS CIKARANG	214室				
		イソラス チカラ(インドネシア)					

上場取引所	東京証券取引所プライム市場	
社名	藤田観光株式会社	
証券コード	9722	
単元株式数	普通株式 100株	
	A種優先株式 1株	
事業年度	毎年1月1日～12月31日	
基準日	12月31日	
配当金支払株主確定日(普通株式)	12月31日および中間配当を実施するときは6月30日	
定時株主総会	毎年3月	
発行済株式の総数	普通株式 12,207,424株	計 12,207,524株
	A種優先株式 100株	
発行可能株式総数	普通株式 44,000,000株	計 44,000,150株
	A種優先株式 150株	
決算期	毎年12月31日	

IR担当部門 （お問合せ先）

藤田観光株式会社 企画本部 経営企画部

TEL : 03-5981-7722

<https://www.fujita-kanko.co.jp/ir/index.html>

注意事項：

当資料は、藤田観光グループの業績および今後の経営戦略に関する情報の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の投資勧誘を目的としたものではありません。

また、注記を行っている場合を除き、2024年6月30日現在のデータに基づいて作成しております。

尚、当資料に掲載された予測等は作成時点での当社の判断であり、経営環境の変動により今後変更される可能性がありますのでご了承ください。

当資料の転載はご遠慮ください。